4. オオシマウスアヤカミキリ
Bumetopia oshimana BREUNING
5♂♂2♀♀, 諏訪瀬島, 2. Ⅷ. 1973: 3♂♂6♀♀, 悪石島, 5. Ⅷ. 1973

5. アトモンチビカミキリ（奄美亜種）
Sybra baculina oshimana BREUNING
4♂♂1♀, 諏訪瀬島, 2. Ⅷ. 1973

6. サビアヤカミキリ（奄美亜種）
Abryna obscura oshimensis (BREUNING)
1♂4♀♀, 諏訪瀬島, 2. Ⅷ. 1973: 1♂2♀♀, 悪石島, 5. Ⅷ. 1973

7. ワモンサビカミキリ
Pterolophia (*Hylobrotus*) *annulata* (CHEVROLAT)
1♂, 悪石島, 5. Ⅷ. 1973

8. キボシカミキリ（トカラ亜種）
Psacothea hilaris macronotata HAYASHI
1♂, 諏訪瀬島, 2. Ⅷ. 1973
中之島産の個体と比べて特に変異はない。

9. コゲチャサビカミキリ
Mimectatina meridiana (MATSUSHITA)
2♀♀, 諏訪瀬島, 2. Ⅷ. 1973

(〶110　台東区台東2-29-6)

徳島県剣山における興味深いカミキリ２種

鎌田　保生

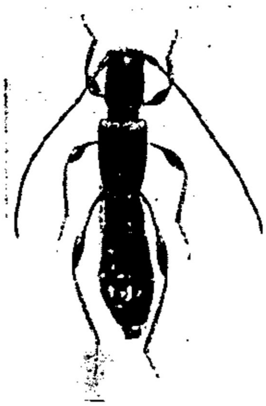
筆者は徳島県剣山において，興味深いと思われる下記２種のカミキリを採集しているので報告しておく。

1. クロサワヒメコバネカミキリ
Epania septentrionalis HAYASHI
1♀, 8. Ⅶ. 1973, 筆者採集
夫婦池より下山中，登山道沿いの広葉樹の伐採木にて採集。伐採木の１本に止ってハネカクシがするように羽根の手入れをしていた。

2. ホソツヤヒゲナガコバネカミキリ
Molorchus (*Linomius*) *nitidus* OBIKA
既に本州・九州・対馬より記録されているが，四国からの記録は未だなかったものと思われる。(写真)
1♀, 4. Ⅴ. 1975, 筆者採集
1♀, 5. Ⅴ. 1975, 〃
1♀, 11. Ⅴ. 1975, 〃 (小笠原隆保管)

5月4日（小雨）
小雨の合間に陽がさした折，貞光～見の越方面のドライブウェイ沿いのカエデ花上より採集。

5月5日（晴）
剣橋から八面山方面へ少し入った谷川沿いのカエデ花上にて採集。他にピックニセハムシハナなどが多かった。



5月11日（くもり）
この日は梅雨を思わせる天気の上肌寒く，前回のカエデをすくってもカミキリはほとんど入らなかったが，そんな中でポツリと採れた。

以上のように剣山においては低山帯であればどこでも採れるのではないかと思われる。

(〶771-02　板野郡北島町高房川の上8 邦レ西社宅38号)

三宅島でセンノカミキリを採集

神尾　俊夫

1975年６月20日から24日の間に三宅島で採集を行なった際，センノカミキリ *Acalolepta luxuriosa*(BATES) を採集したので報告する。

1♂, 三宅島三池, 20. Ⅵ. 1975, 神尾俊夫採集
1♀, 同　上, 23. Ⅵ. 1975, 同　上



本種は伊豆諸島においては既に新島・御蔵島・八丈島から記録されているが，同島からは未記録と思われる。

なお，この三宅島産の個体は御蔵島・八丈島で得られているものと同じく，他地域のものに比べてかなり黒化の傾向を示している。

(〶330　大宮市宮原町 4-17-8)

ケヤキの樹幹に集まる オニホソコバネカミキリ

鈴木　恭一

オニホソコバネカミキリ *Necydalis* (*Necydalis*) *gigantea* KANO は本邦産の *Necydalis* の中でもクワに寄生するという特異な生態，その局所的な分布でよく

知られている。本種は関東地方においては奥日光が産地として有名であるが，他では東京都下奥多摩日原での1♀の記録がある* のみにすぎなく，その後は都下奥多摩の御岳山で1971年，郷直樹氏により路上を歩行中の1♂1♀が採集されていると聞く。筆者は同じく御岳山にて友人と計14頭の本種を採集したが，その際に非常に興味深い観察をしているので報告しておきたい。

筆者らは1973年から1975年までの3年間にわたって御岳山において本種を採集・観察したが，同地における本種はすべて直径2mほどの巨大なケヤキに飛来した。オニホソコバネの飛来するケヤキはただ1本で，ケーブルカー山頂駅と御岳神社の中間にある“神代ケヤキ”と呼ばれている巨木である。このケヤキには地上3mほどのところに，おそらく台風で太い枝が折られたと思われるところがあり，その付け根にあたるところの，材質が腐触しているような部分にオニホソコバネは飛来した。この木の周辺で枝先などを飛び回っている個体もよく見られるが，最終的にはその部分にやってくるようであった。

ここで興味深いのは，このケヤキにオニホソコバネのやってくる時間が早朝6：00から7：00の間に限られること，および採集された個体のすべてが♂であったことである。早朝のみに限って飛来することは，今までこのような観察がされなかった一因とも考えられるが，飛来してきた個体のすべて（ただし，他にも多くの個体を目撃しているが，それらの性別はわからない）が♂であったことはなんとも説明がつきにくい。奥日光大沢ではクワの古木の仮死部に本種♀が止り，産卵と思われる行動をしているものを見ることができるが，この場合は♀に限られ，♂はクワの葉上に静止しているか，または付近を飛び回っているのである。もしオニホソコバネがケヤキをも食害するとすれば（そのために飛来しているとすれば）♀ばかりならともかく，すべて♂というのは合点がいかない。

以上，まだオニホソコバネがケヤキを食するかどうかの結論はでないが，可能性は充分にあるのではないかと推察される。今までオニホソコバネといえば，クワというイメージがあまりにも強かったが，今後，ケヤキにも目をむけ，新しい生態が確認されることを期待したい。

採集記録

2♂♂，1.Ⅶ.1973，樋村愼一・小沼孝行採集

8♂♂，1.Ⅶ.1974，加藤源喜・小沼孝行・鈴木恭一採集

1♂，3.Ⅶ.1974，小沼孝行採集

3♂♂，31.Ⅶ.1975，加藤源喜・鈴木恭一採集

*）昆野安彦(1971)，月刊むし9号，p.33

（〒180　武蔵野市吉祥寺東町3-10-13）

宮古島でツヤケシヒゲナガコバネカミキリを採集

斎藤　秀生

ツヤケシヒゲナガコバネカミキリ *Molorchoepania mizoguchii* (HAYASHI) は伊豆諸島新島・九州・屋久島・奄美大島・徳之島・沖縄本島・石垣島・西表島・与那国島からすでに記録されているが，宮古島における報告は聞かない。

筆者は1975年春，同島を訪れた際に枯づるのビーティングにて本種を採集しているので報告しておく。

1♂，12.Ⅳ.1975，宮古島友利，斉藤秀生採集　藤田宏保管

なお，この個体は4.5mmとかなり小型のものであった。

（〒154　世田谷区弦巻4-2-17　くるみ荘30号）

竹富島のカミキリ

矢野　立志

1974年4月16日，八重山群島竹富島に採集に行く機会があり，計13種のカミキリを採集することができた。今まで同島へ訪れたカミキリ屋はほとんどないようで，カミキリの記録は特産亜種になっているアトモンチビをはじめ，ニッポンモモブトコバネ（ssp. *iriomotensis*）・ムネモンアカネトラ・モモブトトゲバ等が知られている程度であった。

1. ヒゲナガヒメカミキリ
   Ceresium longicorne PIC，1♂，3♀♀
2. リュウキュウヒメカミキリ
   Ceresium fuscum shirakii HAYASHI, 2exs.
3. ニセフトガタヒメカミキリ
   Ceresium pseudounicolor KUSAMA et KOMIYA, 2exs.
4. イシガキゴマフカミキリ
   Mesosa cervinopicta (FAIRMAIRE), 1♂
5. サキシマウスアヤカミキリ
   Bumetopia japonica ishigaki HAYASHI，1♂
6. ヨスジシラホシサビカミキリ
   Apomecyna historio (FABRICIUS), 6exs.
7. アヤモンチビカミキリ
   Sybra ordinata flavostriata HAYASHI, 11exs.
8. アトモンチビカミキリ
   Sybra baculina carinatipennis BREUNING et CHUJO, 8exs.